



防災まちづくり談義の会

「チーム学校」が地域と連携した 災害に強い学校・まちづくり

～地域防災計画に示された学校の役割理解、
職員と学校運営協議会等の共通理解が基盤～



講師：鷲山龍太郎氏

趣旨

災害時には学校は児童生徒の安全確保と一日も早い学校再開を第一任務とするが、同時に地域の防災の拠点としての地域防災拠点の運営支援が地域防災計画に定められている。また、児童生徒が学校にいる時間は一年間の2割に満たないことから、家や地域にいる時間の災害に対する「生きる力」を育てなければ防災教育をしたことにならない。そのためには、「チーム学校」としての職員の学校経営参画と、その上で地域と理念と行動計画を共有した防災教育の展開が望まれる。学校が地域防災計画に示され期待される役割を明確にするとともに、講師が経験した、学校職員、地域、保護者の皆様との連携による防災まちづくりの実践例を紹介する。

略歴

横浜市立小学校を歴任 学校、地域、保護者連携による
防災まちづくりを推進 防災士

現在は、地域防災や生涯学習講座等での講演やワークショップなど、防災、地学等の社会教育活動に取り組む。



東北 災害被災地にて

◆日時：2019年11月29日(金)

16時～17時30分

◆会場：神奈川大学1号館301号室

◆参加費：無料

◆申込み：不要(直接会場にお越しください)

主催「防災塾・だるま」

<http://darumajin.sakura.ne.jp>



神奈川大学：東門の看板でご確認ください。

次回のご案内 開催日時：12月13日(金) 15時15分～16時45分 場所：神奈川大学1号館301号室

内容：～日本と世界各地の主に地震被災地を訪ねて！～ 講師 神奈川大学工学部教授 荻本孝久氏

懇親会開催 17時30分～19時30分 場所1号館806号室 是非ご参加ください。(時間変更有)